

■チェコ：バビシュ首相、新規原子炉を 2036 年までに完成させると発言

チェコのバビシュ首相は 2019 年 11 月 13 日、同国のドコバニ原子力発電所に新たに原子炉を建設し、2036 年の完成を目指すと述べた。2022 年までに事業者の選定を終え、2029 年までに建設を開始するとしている。同首相は、原子力発電は同国におけるエネルギー安全保障のみならず、地球温暖化対策としても非常に重要な役割を担うとしており、同国の発電電力量の原子力発電シェアを、現在の約 30%から 2040 年までに 40%まで引き上げると述べた。現地メディアは、これまでに 6 事業者（ロスアトム、KHNP（韓国水力原子力発電）、CGN（中国広核集団）、EDF、ウエスチングハウス、アトメア）が同事業に関心を示していると伝えている。